

必見！！小池博史演出（元「パパ・タラフマラ」演出家）

市民 23 名による舞台パフォーマンス

ゴールデンウィークに世界的なパフォーマンスカンパニー「パパ・タラフマラ」の演出家・小池博史による舞台ワークショップを開催しています。ゴールデンウィークの最終日の5月6日（日）には、ワークショップ参加者23名の個性を活かした、小池博史さん演出による『公演発表会』を実施します。1週間で作った、プロの演出による市民パフォーマンスを、ご家族皆さんで是非ご鑑賞ください！！



1 week 体験！プロとつくるパフォーマンス
～歌い、踊り、演じてみよう！～公演発表会



魔の教室

<当事業は一般市民の方からご提案された企画です>



日 程：2012年5月6日（日）

15：00 開演（上演時間60分程度）

会 場：茅野市民館 マルチホール

<入場無料>

このワークショップでは、1週間という期間で1時間の作品を制作しています。みんな素人ですから、出来ることはたかが知れてはいますが、ただ、人間の持つ潜在力はいろいろな感覚を呼び覚ますことを可能にします。人は可能性の宝庫なのです。しかし、多くがその力を押し込めることで、社会を成り立たせようとする愚行を犯す。けれど、からだを活性化すれば多大な力を人は発揮し得ます。それを知って頂ければ・・・ぜひ、ご来場ください。

（小池博史 5月3日）

小池博史 プロフィール
（元「パパ・タラフマラ」芸術監督、演出家・作家・振付家・舞台美術家・写真家、P.A.I. 所長）

1982年「パパ・タラフマラ」設立。以降、全55作品の作・演出・振付を手掛ける。その作品群は、演劇・舞踊・美術・音楽のジャンルを超えた「新しい舞台芸術」として強くオリジナリティに溢れている。ベネチア・ビエンナーレ、ネクストウェーブフェス、ベルリン芸術祭などの海外主要フェスティバルや世界の一流劇場からの招へい公演を毎年実施し、世界30カ国以上を駆け巡り、国際的に高い評価を確立。1995年「パパ・タラフマラ」舞台芸術研究所(P.A.I.)設立。若手パフォーマーの育成に力を入れている。2012年5月からは、複合的アーティスト養成を目指す「舞台芸術の学校」に変わる。



【お問合せ】

茅野市民館 長野県茅野市塚原一丁目1番1号 tel 0266-82-8222 fax 0266-82-8223

主催：茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造 / 制作協力：株式会社 SAI / 協力：NPO 法人サポート C

後援：茅野市、茅野市教育委員会、信濃毎日新聞社、長野日報社、信州・市民新聞グループ（7紙）、エルシーブイ株式会社

F M長野、株式会社長野こまち、株式会社まちなみカントリープレス

